Ehon Guide Book

はじめてであう こころ育てのひみつ

こどももおとなもえほんでかわる

お子さんのなまえ

矢祭町「子ども読書の街」づくり推進委員会
矢祭もったいない図書館

もくじ

はじめての絵本 ・・・

はじめての絵本

はじめて読み聞かせした絵本のタイトルやお子さんの様子を記録しましょう

絵本のタイトル

読んだ日　　年　月　日

お子さんの様子

はじめまして

赤ちゃんと絵本との出会いをはじめませんか。

本との出会いは、赤ちゃんとおとうさん･おかあさんが絵本をとおして、ゆっくりとふれあうひとときをもつ、きっかけをつくります。絵本は、赤ちゃんに優しく語りかけ、ともに過ごす時間をごく自然につくりだします。

赤ちゃんを、おひざに抱っこしたり、おやすみ前に一緒に寝転んだりして、おとうさん・おかあさんと絵本を読むことで、赤ちゃんとの楽しいひとときをわかち合うことができます。

赤ちゃんと一緒に、絵本を開いて楽しんでください。読むことに集中するのではなく、赤ちゃんが本当に楽しいと感じているか、赤ちゃんの表情も見てください。短い時間で心のスキンシップがとれ、わずかな時間の絵本タイムが親子のきずなを深めます。読み聞かせは、“親子で楽しく過ごす時間をつくりたい”と思っているご家族に、おすすめしたいものです。

このガイドブックを、どうぞお役立てください。

こころを育むひみつの力、読み聞かせ

生まれて間もない赤ちゃんは、ことばを話しませんし、おとなが話しかけても、ことばの正確な意味は理解できないですよね。でも、お母さんが赤ちゃんをやさしい笑顔で見つめ、両手をぷるぷるぷると揺らして声をかけると、赤ちゃんも同じように両手を振って笑顔を返します。

そのことは、お母さんの愛情が赤ちゃんに伝わり、赤ちゃんは喜びと信頼感を、同じからだの動きで返してきたことを示しています。言いかえるなら、お母さんと赤ちゃんの間には大事な思いや感情のコミュニケーションが成立しているのです。

人間同士のコミュニケーションはことばで成り立っていると、一般には考えられがちですが、それは誤りです。専門家の研究によりますと、大人でも子どもでも、考えや感情を伝えるコミュニケーションのなかで、ことばが果たしている役割は20パーセントに過ぎず、80パーセントは語調、目、顔全体の表情、仕ぐさ、手ぶり身ぶり、間あるいは沈黙など、いわゆるノンバーバル(非言語)の要素に依存しているということです。

このことは、赤ちゃんのブックスタートや幼児への読み聞かせをするうえで、重要です。親はただ文章を読んで、頁をめくっていくだけでは、赤ちゃんも幼児も絵本の世界に入ってきません。1画面ごとに親子で絵の細かいところに目を向けて、指でなぞるようにして楽しんで文を読み、次はどうなるかなという期待感が盛り上がったところで頁をめくるのです。途中でわが子が前の頁に戻ろうと手を出したら、絵本の世界に入りこんだ証拠です。

そうしたゆっくりとした読み聞かせのなかで、親も楽しんでいることを語調や間や表情などで(大げさにならずに)示していくことが、とても大事です。(小学生くらいになると、読み方はすっきりとさせないといけませんが)そのためには、事前に絵本を読みこなしておくことですね。

もうひとつ大事なことは、読み聞かせをするときには、テレビやパソコンをオフにし、スマホもマナーにして、赤ちゃんや幼児が絵本だけに集中できるように環境を整えることです。

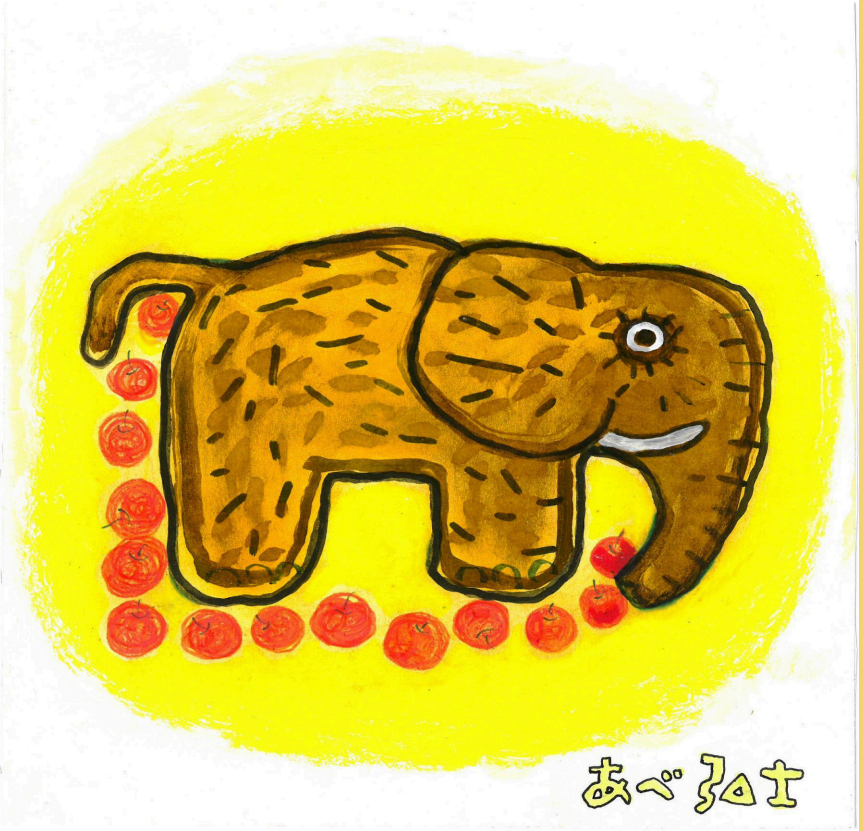
以上のような条件を意識して、生後1か月半くらいから読み聞かせをはじめたところ、1週間ほどで絵本の特定の絵に興味を持ちはじめ、6か月ごろには1日に5冊も読まないと満足しないほど、こころが育まれた例を私はそのお母さんから聞いています。

さあ、お母さんもお父さんも、このハンドブックを活かしてください。

ノンフィクション作家
柳田邦男

絵本作家　あべ弘士さんメッセージ

このゾウさんの
ウンコは
リンゴです。
だから
いつでも
いつまでも
おいしく
食べます。
絵本も
そうです。
いつでも
いつまでも
楽しく
そばにいます。



読み聞かせは、なぜ必要？

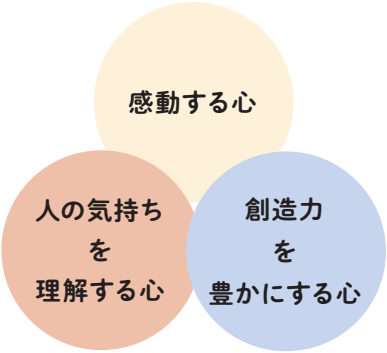
乳幼児期は、脳の発達や感性が養われる一番大切な時期です。人間の知能の半分くらいは 4 歳くらいまでに発達し、残りはだいたい 8 歳くらいまでに形成されるといわれています。

　このような重要な時期にご家族そして、まわりの人たちの語りかけや肌のふれあいなどで、少しずつ言葉や動作を覚え、理解を深め、自分で表現できるようになっていきます。大人との交流の中で言葉を覚えていきますが、親密なやり取りがあれば、さらに急速に進歩をみせてくれます。その仲立ちをしてくれるのが、絵本です。

　赤ちゃんと一緒に絵本を楽しみましょう。ご家族での心地よい、やさしい言葉が発育に大きな栄養となり、絵本をとおした働きかけで、赤ちゃんが笑顔でこたえてくれます。読み聞かせを、繰り返すことにより、言葉や、感動を覚え、成長していきます。家族のきずなを深めていく、それが、読み聞かせの魅力です。

　あかちゃんは、お腹の中にいるときからご家族の声を聴いていますから、生まれるとご家族の声を聞いて安心します。たくさんの絵本を読んで、語りかけてください。お子さんは、おとうさん・おかあさんの声が「何よりよい」と感じています。

3 つの心を育てよう！



読み聞かせ Q&A

Q1. はじめて読むのは、どんな絵本がよいのですか？

A1. 赤ちゃんが好む絵本が基本ですが、
おとうさん・おかあさんが好きな絵本を読んであげてもよいですよ。

Q2. いつ・どこで・だれが読んだらよいのですか？

A2. おやすみ前やお昼寝前が多いようですが、お散歩中の公園のベンチや
病院の待合室など、いつでも、どこでも、だれでも気軽に読んでください。

Q3. 読み聞かせの時間が取れないのですが、どうしたらよいですか？

A3. 大丈夫ですよ。こども園や図書館などで読み聞かせをしています。
こども園では、保育士さんや先生、ボランティアさんの協力もあり、読み聞かせをしています。
絵本にふれる機会は十分あります。図書館でのおはなしかいにも参加してください。

Q4. 絵本を見せたら、いやがって泣き出してしまいました。どうしたらよいですか？

A4. 無理せずに様子をみましょう。「絵本は楽しい」と感じてくれることが重要です。
短い時間でかまいませんので、機嫌のよいタイミングからはじめましょう。

Q5. 同じ本を何回も読み聞かせの本に選びますが、どうしてですか？

A5. 本が好きになって来たようです。
お子さんによっては、同じページを繰り返し読むことをせがんだりします。
何回でも満足するまで読んであげましょう。
満足感が得られれば、自然と次の絵本に興味がいきます。

ガイドブックの使い方

～きょうからはじめましょう～

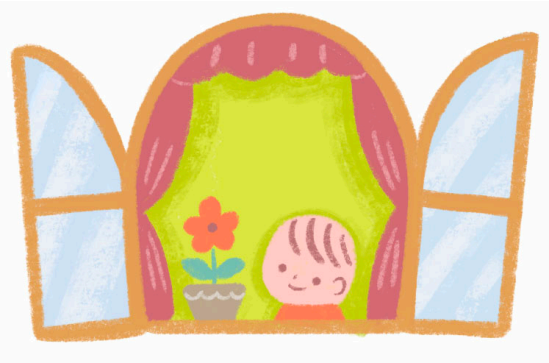
●絵本で子育て

お腹に赤ちゃんがいるプレママからはじめましょう。

このガイドブック「こころ　育ての　ひみつ」は、絵本を生活に取り込み、「楽しく子育て」をするためのものです。妊娠・出産・育児のサポートは「母子健康手帳」がありますが「こころ　育ての　ひみつ」もセットでお使いください。
赤ちゃんと一緒に、おだやかなひとときをすごしましょう。

●使い方

①赤ちゃんが生まれてお名前がついたら、お子さんのなまえを書きましょう。
②健診でプレゼント絵本を受け取ったら、お腹の赤ちゃんに、生まれてからは、機嫌の良いタイミングで読みましょう。
③読み終わったら、読んだ日、本のタイトル、気づいたことを何でも記録しましょう。
④年齢に応じた絵本選びを紹介していますので参考にしてください。
⑤絵本は、図書館を活用しましょう。「貸出カード」は、赤ちゃんの名前でも登録できるので、家族で登録しましょう。
⑥図書館には、借りた本を記録する「読書通帳」がありますので利用してください。
⑦図書館の「おはなしかい」の情報をチェックして、赤ちゃんとお出かけください。



読み聞かせをはじめるには

読み聞かせをする準備は？ 何を用意すればよいの？

絵本を用意する

「読んではいけない絵本」なんてありません。
お家にある絵本や図書館で借りた絵本、何でも大丈夫です。
悩んだときは、おとうさん・おかあさんの好きな絵本から始めてみるとよいですよ。

親子で楽しむ

絵本を用意したら、あとは親子で楽しみます。
聞いていないように見えても大丈夫です。絵本から「これ　なんだろうね？」などと、オモチャで遊んでいる時と同じように話かけながらでも、絵本を絵だけで楽しんでもよいのです。
おとうさん・おかあさんが楽しそうにしていると、お子さんも興味を持ちますよ！
徐々に慣れてきたら、ゆっくりとお子さんと楽しんで、読みましょう。
お子さんも、おとうさん・おかあさんの顔が見えると安心します。

絵本は、買うの？ 借りるの？

図書館から借りて、お気に入りの本ができたら、
購入してもよいでしょう。
本を買うことは、好きな作家を応援することにも繋がります。
まずは、図書館で本を借りてみましょう。

図書館に行くと楽しいことがたくさんあります。

同じ年齢のお友達と出会うことができたり、季節に合ったお薦めの絵本をたくさん紹介してくれたりします。 おはなしかいの日程も確認して、読み聞かせに参加しましょう！

本を借りるのに準備するものは？

1. **図書館利用カード** ⇒ 持っていない方は、住所の確認ができるものが必要です。
2. **借りた絵本を入れるカバン** ⇒ 忘れないで、持っていきましょう。

絵本は家のなかで、どのように置いたらいいの？

取りやすくします。お子さんが、いつでも手の届くところに絵本を用意します。
絵本を大事に扱うと、お子さんも大事にあつかいます。

0歳

赤ちゃんと心を通わせるひとときを楽しみましょう。

絵本を開いて、赤ちゃんと楽しいひとときを…

赤ちゃんは、言葉の意味はわからなくても、くり返しのリズムのある絵本が大好きです。また、言葉のひびきやリズムを楽しめる耳をもっています。絵本なんてまだ早いと思っていませんか？

赤ちゃんは抱っこが大好きです。おひざに抱っこして、絵本を読んで、楽しい時間をすごしましょう。

赤ちゃんにとっては、絵本は遊びの道具「おもちゃ」です。厚めのボール紙が使われて、角は、丸くカットされ、中には、なめたり、かじったりしても安全な染料を使用しているものもあります。

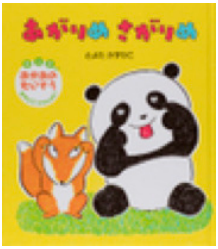
図書館には「除菌ボックス」もあります。除菌をしてお貸します。おはなしをして、笑ったり、歌ったり、絵本との出会いを楽しみましょう。

手づくり絵本コンクール作品

くり返しやリズムを楽しむ絵本

「じゃあじゃあびりびり」
まついのりこ：作／絵
偕成社

「ころころころ」
元永定正：作
福音館書店



「あがりめさがりめ」
とよたかずひこ：作
世界文化社

「いない いない ばあ」
松谷みよ子：文　瀬川康男：絵
童心社

「かお かお どんなかお」
柳原良平：作
こぐま社

「くっついた」
三浦太郎：作
こぐま社

「おおきくなあれ」
あべ弘士：作
絵本館

「だるまさんが」
かがくいひろし：作
ブロンズ社

「たたくと ぽん」
寺村 輝夫：作 和歌山静子：絵
あかね書房

1歳

絵本との付き合い方は、家庭によってさまざまです。

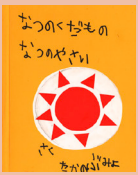
好きな絵本やわらべうたから、新しいことばが…

歌ったり、手遊びをしたり、体を動かすことが一緒にできるようになり、話しかけにより、気持ちを言葉で表そうとします。「ニャーニャー」、「ごろごろ」、「にょろにょろ」など、くり返しのことばや場面のあるお話にも感心を持つようになります。

何にでも興味を示し「読んで」と絵本を持ってきたりもします。相手にして欲しい合図です。好きな絵本も表紙の絵でわかるようになり、何度でも持ってきます。好きな絵本をくり返し読むことで、新しい言葉も少しずつおぼえます。一つ一つに答えて読むことにより、お子さんの心に親への信頼感が育ちます。

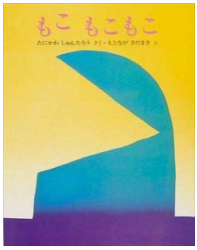
基本的な生活習慣を身につけていく時期でもあるので、あいさつしたり、くつをはいたりする生活絵本を読むのもよいでしょう。

手づくり絵本コンクール作品



「くだもの」
平山和子：作
福音館書店

「くつくつあるけ」
林 明子：作
福音館書店



「もこもこもこ」
谷川俊太郎：作　元永定正：絵
文研出版

「はらぺこあおむし」
エリック・カール：作
もりひさし：訳　　偕成社

「あっぷっぷ」
中川ひろたか：文 村上康成：絵
ひかりのくに

「ぴよーん」
まつおかたつひで：作／絵
ポプラ社

「ふたごのしろくま」
あべ弘士：作
講談社

「どんどこ ももんちゃん」
かがくいひろし：作／絵
童心社

「あかちゃんと
わらべうたであそびましょ！」
さいとうしのぶ：編／絵 のら書店

2歳

赤ちゃんから子どもへと成長していきます。

基本的な生活習慣の学びは絵本から…

はしったり、ジャンプしたりと運動ができるようになり、衣類の着脱も一人でやろうとしたり、生活面でも意欲が育つ時期です。

遊びの中でも、簡単な言葉のやり取りを楽しむことができるようになり、言葉の数も増えていきます。

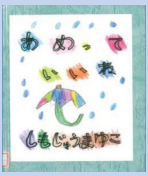
家の中から外の世界に興味が広まっていきます。人や自然とふれあう中で、好奇心の心を育みます。ハラハラ・ドキドキする絵本やストーリーを楽しむ物語絵本にも興味を示すようになります。基本的な生活習慣や意欲の育ち、何かを作り出す力を刺激して、応援できる絵本などがよいでしょう。

図書館での絵本選びは、子どもコーナーで自由に絵本に触れ、お子さんに選ばせてください。親と子がふれあうリラックスした時間が楽しめます。おとうさん・おかあさんが読んであげたい絵本も追加して、借りてもよいですね。（図書館利用ガイド P24参照。）

♪いっしょに歌いましょう♪

♪げんこつやまの
たぬきさん
♪てをたたこう

手づくり絵本コンクール作品

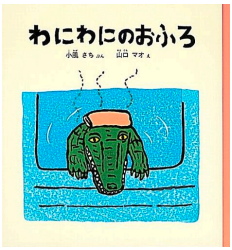


「くじらのあかちゃんおおきくなあれ」
神沢利子：文　あべ弘士：絵
福音館書店

「きんぎょがにげた」
五味太郎：作
福音館書店

「ぱんだのんびりたいそう」
いりやまさとし：作
講談社

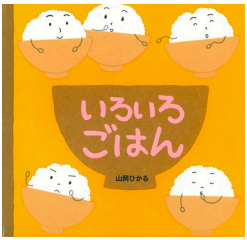
「おはよう」
なかがわりえこ：作
やまわきゆりこ：絵　グランまま社



「わにわにのおふろ」
小風ちさ：作　山口マオ：絵
福音館書店

「おやすみ」
なかがわりえこ：作
やまわきゆりこ：絵　グランまま社

「やさい」
平山和子：作
福音館書店



「いろいろごはん」
山岡ひかる：作
くもん出版

「しろくまちゃんのほっとけーき」
わかやまけん、もりひさし、
わだよしおみ：作　こぐま社

3〜4歳

自立心が育ち、想像力が広がります。

「なぜ？どうして？」身近な話題の絵本から…

絵本選びのポイント

身近な動物や植物・遊具に興味を持って関わり、考えたり、試したり、工夫して遊ぶことができ るようになります。お話を楽しむことができるので、お話が伝わるように話す工夫をします。 自立心が育つ時期でもあり、知識力も芽生え、周りの人や物事をじっくり観察し、見たこと のないもの、不思議なもの、自然なものに興味を示し、「なぜ？」「どうして？」と質問してきます。

友だちとの関わりも増え、友達の気持ちを想像したり、自分の気持ちを言葉を使って伝えるようになります。 耳で聞いた情報や、目で見た情報を合わせて、身近な話題の絵本、繊細に描かれた絵本により、より日常的生活に寄り添い、明るく楽しい絵本を選んでください。絵本も簡単なストーリーなら楽しめるようになり、登場人物たちの気持ちを想像したり、絵本を楽しむことができるようになります。おとうさん・おかあさんも、お子さんの興味ある「なぜ？」「どうして？」の質問に、一緒になって向き合ってみてはいかがですか？ 文字のない絵本は、たくさん話しかけてあげましょう。

いっしょに歌いましょう

♪おべんとうばこのうた

♪いとまき

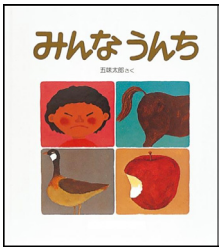
手づくり絵本コンクール作品

「ライオンのよいいちにち」
あべ弘士：作 / 絵
校正出版社

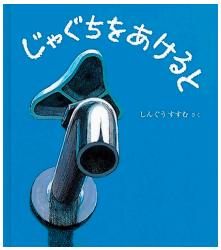
「おおきくなるっていうことは」
中川ひろたか：文　村上康成：絵
童心社

「おべんとうばこのうた」
高木あきこ：作　かとーゆーこ：絵
世界文化社

「どうぶつのおやこ」
薮内正幸：作
福音館書店



「みんなうんち」
五味太郎：作
福音館書店



「じゃぐちをあけると」
しんぐうすすむ：作
福音館書店

「でんしゃにのって」
とよたかずひこ：作／絵
アリス館

「はたらくくるま　とどくかな」
三浦太郎：作
偕成社

「ぐりとぐら」
なかがわりえこ：作
おおむらゆりこ：絵　福音館書店

知識も増えて、
一人一人の個性も豊かになってきます。

“ 読み聞かせ黄金期 ”

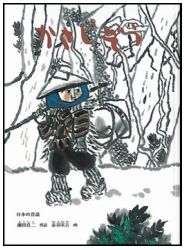
ほとんど自分で出来るようになってきます。友達との遊びも楽しく、思いやりの気持ちも育ち、困った時や嫌なことがあった時、どうしたら良いのかを考え、解決しようとする意欲が芽生えてきます。

この時期は、様々なことを吸収しやすく、読み聞かせ黄金期ともいわれています。 絵本も、不思議な世界や未知の世界、昔話も楽しめます。本との出会いは、お子さんの好奇心を満たすだけでなく、将来まで続く心の栄養となります。

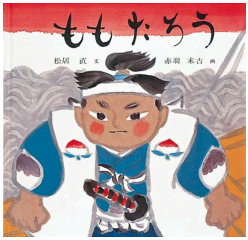
昔話には、昔の人が伝えようとした生きるための知恵が込められています。柔軟なこの時期にたっぷりと読んでください。科学の絵本は、読むだけでなく、「もっと知りたい。」「やってみたい。」「見てみたい。」と思わせる力があります。 絵本は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。 子どもさんが大きくなった時、自分で「心に残る一冊の本」を選ばれるようになるとよいですね。

手づくり絵本コンクール作品

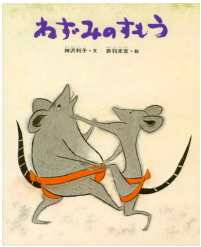
しぜん



「かさじぞう」
瀬田貞二：再話 赤羽末吉：画
福音館書店



「ももたろう」
松井 直：文　赤羽末吉：画
福音館書店

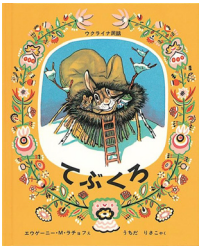


「ねずみのすもう」
神沢利子：文　赤羽末吉：絵
偕成社

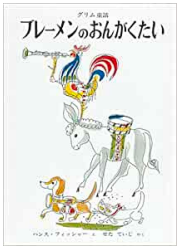
「おおきなかぶ」
A・トルストイ：再話
佐藤忠良：画　内田莉莎子：訳
福音館書店

「三びきのやぎのがらがらどん」
ノルエーの昔話
マーシャ・ブラウン：絵
せたていじ：訳　福音館書店

「おおかみと七ひきのこやぎ」
グリム：作　フェリクス・ホフマン：絵
せたていじ：訳 福音館書店



「てぶくろ」
ウクライナ民話
エウゲーニー・M・ラチョフ：絵
うちだりさこ：訳　福音館書店



「ブレーメンのおんがくたい」
グリム：作　ハンス・フィッシャー：絵
せたていじ：訳 福音館書店

「みつばちマーヤの冒険」
ワンデマル・ボンゼルス：原作
熊田千佳慕：絵　小学館

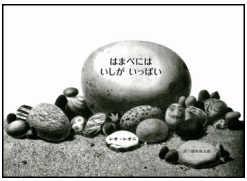
しぜん

「たんぽぽ」
平山和子：文 / 絵　北村四郎：監修
福音館書店

「みかんのひみつ」
鈴木伸一：監修 岩間史朗：写真
ひさかたチャイルド

「あさがお」
荒井真紀：文 / 絵
金の星社

「まほうのコップ」
藤田千枝 ：原案　川島敏生：写真
長谷川摂子：文 福音館書店



「はまべには、いしがいっぱい」
レオ・レオ二：作　谷川俊太郎：訳
好学社

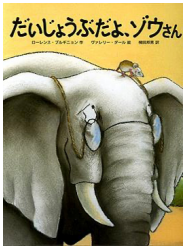
「おかしなゆき ふしぎなこおり」
片平孝：文 / 写真
ポプラ社

「ぼく、だんごむし」
得田之久：文
たかはしきよし：絵 福音館書店

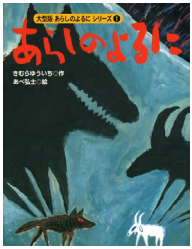
「むしのかお」
新開 孝：文 / 写真
ポプラ社

「たねのずかん
とぶ、はじける、くっつく」
古谷一穂：文　高森登志夫：絵
福音館書店

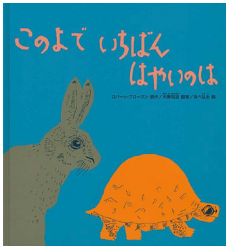
親子で楽しむ絵本



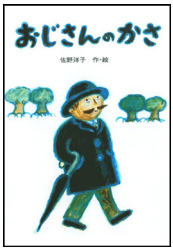
「だいじょうぶだよ、ゾウさん」
ローレンス・ブルギニョン：作
ヴァレリー・ダール：絵 柳田邦男：訳
文溪堂



「あらしのよるに」
きむらゆういち：作　あべ弘士：絵
講談社



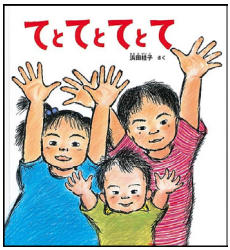
「このよでいちばんはやいのは」
ロバート・フローマン：原作
あべ弘士：絵　福音館書店



「おじさんのかさ」
佐野洋子：作 / 絵
講談社

「雲のてんらん会」
いせひでこ ：作 / 絵
講談社

「おにぎりをつくる」
高山なおみ：文 長野陽一：写真
ブロンズ社



「てとてとてとて」
浜田桂子：作
福音館書店

「おべんとばこさんこんにちは！」
かとーゆーこ：著
マイクロマガジン社

「あーといってよあー」
小野寺悦子：文　堀川理万子：絵
福音館書店

矢祭もったいない図書館には

全国から寄贈された、たくさんの絵本が、あります。

絵本との出会いには、図書館の利用をおすすめします。

どなたでも、生まれたばかりの赤ちゃんでも、無料で利用ができます。

積極的に利用しましょう。

1. 開館時間

午前 9：30 ～午後 6：00

2. 休館日

月曜日 ・・・・ 月曜日が祝日のときには開館
年末年始 ・・・ 12 月 29 日～ 1 月 3 日まで

3. 利用できる人

町民の方だけでなく、全国の方に貸し出します。

4. 利用カードの申請手続き

・利用する方は、「利用者カード申込書」に記入し、「図書貸し出しカード」の交付を受けて下さい。（身分証明書の提示が必要です。）
・図書貸し出しカードを紛失または、住所・氏名等に変更があった時、「利用カード再発行・変更届」の手続をしてください。

5. 絵本を借りるには…

・個人貸出　　一人 10 冊・・・・14 日以内
※家族全員で登録してあると、本をたくさん借りることができます。

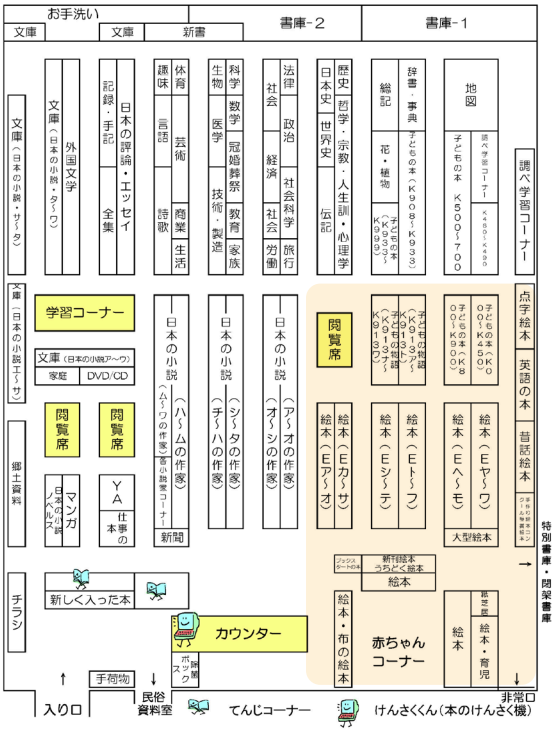
6. 予約、リクエスト

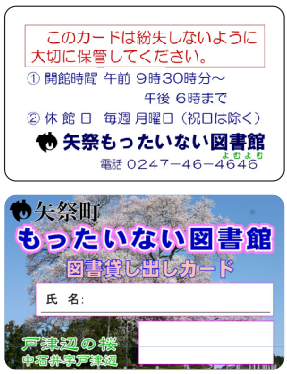
・ 借りたい図書が貸し出されているときに利用します。

7. 蔵書リクエスト

・ 読みたい絵本が借りられないときにリクエストできます。

矢祭もったいない図書館　館内図





貸出カード

赤ちゃんコーナー
絵本コーナー

赤ちゃんの絵本紹介

赤ちゃんコーナー

絵本コーナー

赤ちゃんコーナーや絵本コーナーにたくさん絵本があるよ
気に入った絵本を借りてね！
貸出冊数は、一人10冊まで、 貸出期間は２週間だよ！

読書通帳の使い方

図書館から絵本を借りたら、読んだ本を読書通帳に記録しましょう。

- 通帳がすべてうまった時、この通帳をなくした時、ひろった時は、図書館までお知らせください。
- この通帳に期限はありません。
- 通帳にすべてうまると、認定証とゆめ活ポイント５０ポイントを贈呈します。

認定書

あなたは 336 冊の本を読み読書通帳に記録されましたので
ここに認定します。
これからもたくさん本を読みワクワクドキドキする気持ちを
本からたくさんもらって心に栄養をつけてすごしてください。

年　　月　　日

矢祭もったいない図書館　印

ブックスタートのはじまり

その1

1992 年英国で発祥 ～ read books ではなく share books ～
キャッチフレーズは「Share book with your baby」
本を読む（read books）のではなく、赤ちゃんと絵本を開く楽しいひとときを分かち合います（share books）。
そのきっかけを、すべての赤ちゃんのもとへ届けようとはじまりました。 活動は現在、世界各地で行われています。

その2

2001 年４月、日本でブックスタート開始
日本では、2001 年「子ども読書年」を機にブックスタートが開始されました。
同年 11 月に東京都杉並区で 200 の家庭を対象に試験実施され、2001 年４月に 12 市町村で本格的な活動がはじまり、その後、全国各地に広がっています。

矢祭町の取り組みは？

矢祭町では、2004 年（平成 16 年） 5月より乳児健康相談の際にブックスタート事業を開始しています。現在も 6 か月健康相談の際に絵本の紹介を実施しています。
矢祭もったいない図書館では、平成 28 年度から乳幼児期における読書活動推進事業により０～５歳児を対象にセカンドブック事業に取り組んでいます。

平成 29 年３月絵本の紹介ガイドブック「はじめてであう こころ 育ての ひみつ こどももおとなも えほんでかわる」作成
令和 5 年 3 月 Ehon Gaide booku として改訂版作成
（矢祭もったいない図書館）

＜参考文献＞

『みんな、絵本から』 著者／柳田邦男 撮影／石井麻木 出版社／講談社
『0 ～ 5 歳 子どもを育てる「読み聞かせ」実践ガイド』 著者／児玉ひろ美 出版社／小学館
『えほんのせかい こどものせかい』 著者／松岡享子 発行所／日本エディタースクール出版部
『あかちゃんの本箱 0 歳から 5 歳の絵本』 ドロシイー・バトラー／著 横山真佐子／訳 発行所／ブック・グローブ社
『絵本は心のへその緒』著者／松井直 発行所／ NPO ブックスタート
『絵本はともだち』 編集発行 福島県立図書館

絵本といっしょに「幸せの記憶」を

2001年のブックスタート活動（27ページ参照）の始まりにより、生まれて間もない我が子に絵本を読んであげる方が増えてきました。
でも、「まだ言葉もわからない赤ちゃんに、どんなふうに読めばよいのかわからない」という声も多く届きます。

読み聞かせは、子どもと一緒にできるたくさんの楽しいことの一つです。
難しいことは何もありません。その日、その時、ご自身が、「わが子に手渡したい、伝えたい」、そう感じた一冊を一緒に分け合えばよいのです。

その思いや願いは、読み手の声を通して、お子さんに伝わります。
そして、幼い頃に受けとった思いや願いは、価値観となって、大人になるまで、お子さんのなかで育ち続けることでしょう。

もちろん、早すぎることも、遅すぎることもありません。
まずは、ご自身が一冊、声に出してご自分のために読んでみましょう。
きっと、心がその良さを受けとることでしょう。
そして、その良さを、どうぞお子さんと一緒に育んでください。
読み聞かせのひとときは、「幸せの記憶」として、お子さんの心に刻まれることでしょう。

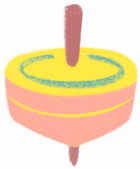
JPIC 読書アドバイザー
児玉ひろ美

昔と変わらない遊び

体を動かす。何かをつくる。はなしをきく。
昔も今も子どもにとっては、すべてが遊びになり笑顔で楽しめます。

伝統的な遊び

お手玉


こま

けん玉

おりがみ

わらべ歌で手遊び

だるまさん

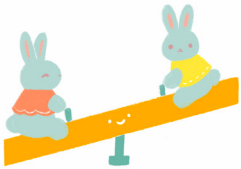
あがりめさがりめ

はくしゅぱちぱち

からだを使って遊ぶ

いないないばあ

こちょこちょ


ぎったんばったん

心地よいリズムから“ことば”をおぼえましょう♪

子育てサポート情報

子育て世代 包括支援センター

妊娠・出産、子育てをとおして
サポートします。

- 母子手帳の申請
- マミーサロン
- リトミック体験
- 歯か指導など

▼お問い合わせ
矢祭町保健福祉センター
☎ 0247-46-4851

子育てつどいの広場
カンガルーくらぶ

開催日：月・火・水・金
第4土曜日
10：00 ～ 15：00
会場：保健福祉センター内

▼お問い合わせ
矢祭町保健福祉センター
☎ 0247-34-1050

子育て応援します。
ファミリーサポートセンター

▼お問い合わせ
☎ 0247-34-1050
矢祭町社会福祉協議会

福島県子育て応援パスポート事業

ファミたんカード

矢祭町や福島県内のファミタンマークのお店でサービスが受けられます。
出生届の際に手続きができます。

やまっぴーカード

図書館利用でポイントがもらえます。
・本の福袋利用（1回 50 ポイント贈呈）
・おはなしか参加（1回 50 ポイント贈呈）
・本を借りて読書通帳24冊（見開き2P）を記帳すると50ポイント贈呈

＊たくさん集めて矢祭町商工会の“商品券”と交換します。
＊図書館でカードの申請手続きができます。

おしらせ

あかちゃんおはなしかい

●毎月第１木曜日　10：00～12：00　会場：もったいない図書館

３歳以下の乳幼児とご家族に向けて、館内においておはなしかい

お話と絵本の読み聞かせ、絵本の紹介、お子様と一緒にワークショップ

プレママ・プレパパおはなしかい

（あかちゃんおはなしかいと同時間催）

●毎月第１木曜日　10：00～12：00　会場：もったいない図書館

出産を控えた方とご家族に向けてのおはなしかい

出産前ブックスタート事業により、参加者に絵本を１冊プレゼント

お話と絵本の読み聞かせ、育児についての本の紹介

あかちゃんおはなしかいと一緒に開催

参加記録ノート

ブックスタート事業

●６か月児乳児健康相談会に開催　会場：保健福祉センター

年４回開催（5月、8月、11月、2月）

もったいない図書館 絵本ガイドブック

「はじめてであうえほん こころ育てのひみつ こどももおとなもえほんでかわる」配布

出生前ブックスタート　●会場：もったいない図書館

プレママ・プレパパおはなしかい参加者または、母子手帳持参者に絵本１冊プレゼント

福袋による本の貸出

一人10冊までリクエストにより利用できます。 貸出期間：2週間

申し込み方法：☎46－4646 図書館カウンター

＊やまっぴーカード 50ポイント贈呈

福袋による本の貸出

Ehon Guide Book

第 1 版	2017 年（平成 29 年）3 月作成
第 2 版	2023 年（令和 5 年）3 月改定
発行	矢祭町
監修	ノンフィクション作家　柳田邦男
	JPIC 読書アドバイザー　児玉ひろ美
装画・イラスト	絵本作家　かとーゆーこ
制作	矢祭町「子ども読書の街」づくり推進委員会

矢祭もったいない図書館

福島県東白川郡矢祭町大字東舘字石田25

TEL: 0247-46-4646

FAX: 0247-57-7500